



《将来に向けた取組方針》

矢崎グループでは生物多様性に関する啓発活動をはじめ、事業所建設時に地域由来の樹種を植栽で使用、敷地内へのビオトープ設置など、生態系に配慮した取り組みを行っています。

また、地域と連携し森林整備や外来生物の駆除などをグローバルの各事業所で行っています。

〈環境に配慮した事業所作り〉

人間性豊かな空間構成と、自然環境の調和を図ったエコロジカルな施設づくりを目指しています。

● Y-TOWN（静岡県 御殿場市）

Y-TOWN※では、土地の風景と調和した森が形成されるよう、地域由来の樹種を植栽したり、修景池を配置しています。

※ Y-TOWN（静岡県御殿場市）

自然・地域・人とのかかわりを重視した社宅、寮などかなる福利厚生施設です。



逆さ富士が映る修景池



自然と触れ合えるビオトープ



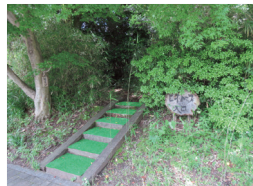
池周辺に再生された自然環境

● Y-CITY（静岡県 裾野市）

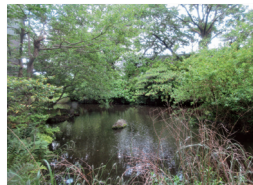
Y-CITY※では、「環境に優しい自然との共生」をコンセプトに、既存樹種を活かした樹林や、水辺ビオトープを創出しています。

※ Y-CITY（静岡県裾野市）

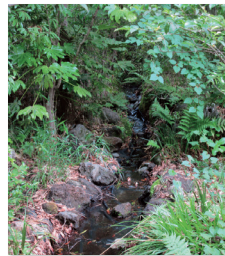
矢崎グループの本社機能部門が集まり、グローバルへ情報を発信する情報基地です。



ビオトープ入口



ビオトープに広がる修景池



流れる小川